「変容する世界-環境・農業・社会」を実施しました。（2018年6月11日～6月23日）

2018年6月11日から13日間の日程で、サマースクール「2018年京都研修プログラム（変容する世界-環境・農業・社会）」が行なわれ、タイのカセサート大学から、学生14名を短期交流学生として受け入れました。このサマースクールは、ILASセミナー（海外）「変容する東南アジア―環境・生業・社会」に係る受入プログラムで、ワイルド＆ワイズ共学教育受入れプログラム事業により実施されました。

参加学生は、秋津元輝　農学研究科教授による講義「Agri-food World in Japan: Present and Future」を受講した他、農学研究科実験圃場、同附属木津農場、滋賀県及び京都市南郊の農家、京都府茶業研究所、北山杉の里総合センターなどを訪問して、日本の農林業と環境について学びました。また、琵琶湖博物館と草津市立水生植物公園みずの森にて、琵琶湖の生態系および自然保護活動について学びました。

期間中には、湯川志貴子　国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター准教授による講義「日本の伝統文化」を聴講した後に、友禅染と着物着付けを体験し、月桂冠大倉記念館を見し、さらに、ゆかた姿で清水寺を訪問するなど、日本文化や伝統産業への理解も深めました。

このプログラムではILASセミナー（海外）等を通じて、カセサート大学と縁の深い本学学生も多く参加し、タイ人学生との交流を深めました。

日本における食と農の現状と未来についての特別講義

日本の伝統文化についての特別講義

金閣寺拝観

友禅染体験

成果発表会